

## 事業実績報告書

様式 2  
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-76	講座名	レイチェル・カーソンと海
記載日	2020.1. 15	団体名・企業名	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム
<p>〈講座全体の概要〉(300字程度)</p> <p>レイチェル・カーソンの遺した言葉をレイチェル・カーソン日本協会の上遠会長から心を込めて伝えてもらい、その生涯や業績を映画で学んだ。そして、名古屋市に残した藤前干潟、SDGsの源流としてのレイチェル・カーソンを振り返った。 また、公害の原点である水俣病についても石牟礼道子さんの軌跡をたどりながら学んだ。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
1月9日上遠恵子会長の講演での意見交換の様子		1月18日実川悠太水俣フォーラム理事長	
<p>〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)</p> <p>海洋生物学者であったレイチェル・カーソンの生涯を学ぶことで、海の問題など幅広く学ぶ機会として企画しました。90歳になられたレイチェル・カーソン日本協会の上遠会長に来ていただき、お話をさせていただくという貴重な機会を得ることができ、本当に実りある研修になったと思います。 名古屋市の問題、SDGsとレイチェル・カーソン、公害の原点としての水俣病についても石牟礼さんの生き方を通じて学ぶことができ、受講者の満足度が高く成果を挙げることができたと思います。</p>			
<p>〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)</p> <p>来年度はCOP10から10年目です。また、上遠先生のお話が聞きたいです。 今まで知らなかったことをたくさん知ることが出来ました。ありがとうございました。 意見交換で参加者の発言にたくさんの発見があった。上遠先生のお話を聞いて幸せでした。 石牟礼道子さんの像と想いと才能が伝わってきて、人物像を少し理解出来ました。 今一度石牟礼さんの作品を読みたいと思いました。</p>			